

令和6年度新人介護職員職場定着促進事業業務委託企画提案質問 回答書 1

番号	回答
Q 1	<p>オンライン開催も可とするとありますが、東部、中部、西部のいずれかをオンライン開催とし、例えば、東部、中部、オンラインの全3回開催という考え方もよいのでしょうか。</p> <p>またはハイブリット開催を意図としているのでしょうか。</p>
A 1	<p>開催方法についての指定はありません。多くの新人職員が参加しやすく、効果的な開催方法をご提案ください。ただし、東部、中部、西部の3地域においての開催は必須とします。</p>
Q 2	<p>アンケートは参加者のみではなく、「参加事業所の人事ご担当者からも取得する」、との事ですが、どのような内容を伺うことを想定しておりますでしょうか。</p>
A 2	<p>研修内容の評価や感想等、今後の事業のための効果測定を想定しています。</p>
Q 3	<p>昨年実施されていた、「参加事業所の人事ご担当者へのフィードバック」を行わないことの本理由をご教示ください？</p>
A 3	<p>昨年度は、参加者個人の職業人生の振り返りについてのフィードバックを行っていましたが、今年度は不要と判断し仕様から外しました。</p>
Q 4	<p>広報に於いて「事業の案内チラシを作成し、配布すること」とありますが、チラシの仕様（サイズ、片面・両面、カラー・白黒、用紙、枚数等）に決まりはありますか。また配布先はどちら（県全体の事業所宛、市町村介護保険課宛、枚数等）を想定されておりますでしょうか。</p>
A 4	<p>チラシの仕様についての指定はありません。また、配布先については県内各市町、県内介護事業所等を想定しておりますが、より参加者が集まりやすい配布先をご提案ください。</p>

Q 5	広報に於いて「研修の内容や研修風景を情報発信し、研修を PR すること。」とありますが、これは令和 6 年度の研修実施後に情報を発信するため、令和 6 年度の参加者募集ではなく、次年度以降への広報の観点という解釈でよろしいでしょうか。
A 5	当該事業はより多くの新人介護職員が研修を受講することで、離職防止と職場定着を促進することを目的としていますので、令和 6 年度中の追加応募も念頭に置いた情報の発信・PR をしてください
Q 6	過去の本事業において実際に行った広報手段及びそれによる参加者獲得数をご教示ください。
A 6	別紙 1 を参照ください。
Q 7	令和 5 年度本事業の開催回ごとの申込数と参加者数を教えてください。
A 7	別紙 1 を参照ください。
Q 8	上記、参加者のサービス種別について教えてください。
A 8	サービス種別についての集計は行っておりません。
Q 9	令和 5 年度本事業の広報の使用媒体、周知内容、回数等について教えてください。
A 9	別紙 1 を参照ください。
Q10	令和 5 年度本事業の申込者が何を見て本事業を認知したのか、認知経路ごとの集計があればご教示ください。
A10	認知経路についての調査は行っておりません。 広報手段については別紙 1 を参照ください。
Q11	昨年度のアンケート結果を開示いただくことは可能でしょうか
A11	別紙 2 を参照ください。

Q12	<p>「県が実施する人材育成事業に参加した介護保険施設等に対し、広報を行うこと。」という文章での「人材育成事業」とは、「令和6年度静岡県介護人材育成事業」のことで間違いはないでしょうか。</p> <p>また、広報の手法としては、当該事業に参加した介護保険施設等へ直接電話・メール・郵送などの手段で受託事業者が連絡し、広報するという認識で間違いはないでしょうか。</p>
A12	<p>令和5年度以前の静岡県介護人材育成事業の参加者が対象となります。</p> <p>広報の手法については、より多くの参加者を集めることができる広報についてご提案をお願いします。</p>

新人介護職員職場定着促進事業

(静岡県福祉長寿局介護保険課)

1. 令和5年度広報の内容について

【全体スケジュール】

- ・ 研修内容確定後、8月より応募を開始。WEB・メール・DM・電話等を利用し周知活動を進めた。
- ・ 研修を10月と1月に実施。

	6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬
研修									新任介護職員向け 交流研修1日目 浜松 静岡 沼津 (10/13)(10/24)(10/25)						新任介護職員向け 交流研修2日目 浜松 静岡 沼津 (1/16) (1/17) (1/24)					
広報	企画・広報準備				広報活動 応募者受付(~11月末)															

【広報・参加事業者募集対応内容】

WEB	<ul style="list-style-type: none"> ・ 弊社公式サイトに研修情報を掲載 ・ 弊社SNSアカウントでの告知 (Facebook,X) ・ 弊社メルマガでの告知
郵送 電話等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内介護事業所運営法人へ郵送案内 (希望者法人のみ) ・ 弊社の顧客や過去のセミナー参加法人 (約101件) に電話及びメールでご案内 ・ 県内介護事業所運営法人 (464件) に電話でご案内

2. 令和5年度開催実績

		西部：浜松市	中部：静岡市	東部：沼津市	合計
1日目	申込者数	29名(16法人)	39名(21法人)	21名(16法人)	89名(52法人)
	参加者数	27名(15法人)	34名(20法人)	15名(12法人)	76名(47法人)
2日目	申込者数	29名(16法人)	39名(21法人)	21名(16法人)	89名(52法人)
	参加者数	24名(13法人)※	27名(16法人)※	13名(10法人)	64名(38法人)

※1名、1日目浜松会場、2日目静岡会場での参加者あり 両日参加：63名

3エリアで合計法人から89人の申込があり、79名が参加した。(うち16名がいずれかのみ参加)

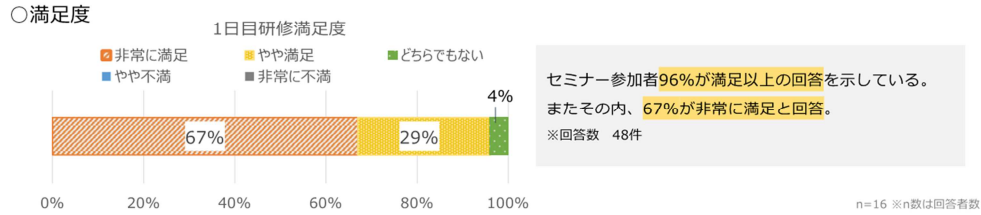
昨年度の同研修より19法人34名の参加者数増となった。

令和5年度新人介護職員向け交流研修アンケート結果

(静岡県福祉長寿局介護保険課)

1. 新人介護職員向け交流研修 研修1日目

アンケート調査



満足度	回答理由（一部抜粋）
非常に満足	目に見えない抽象的な事をグループワークを通して視覚化できた所です。ワークショップに数十年ぶりに参加してとても有意義な体験でした。
非常に満足	こんなに時間をかけて、自身の過去を振り返ることがなく、自身の考え方や傾向を改めて知ることが出来たため。また、グループワークを通して異なった事業所の方と関わりを持つ機会ができ、自身の悩みなどに共感や意見をもらい、自分だけが苦しい思いをしているのではないと感じることが出来たため。
非常に満足	こだわりのセッションで、「周りに迎合し過ぎず、自分の譲れないところを出しても良いこと」に気づけたから
やや満足	初めて知ることもありとても良かったです。ワークも多く、参加者と交流がもてその点も◎でした。時間配分からすると仕方ないと思いますが、ワーク時間が少し足りなかったです。
やや満足	こちらの研修がきっかけで、改めて今の環境を選び、どのような目標を持って、何を研鑽したいのか等も振り返り、整理する事ができました。まだ不十分さはあるので、資料を見返しながら内省を続けていこうと思います。
どちらでもない	改めて認識したから

他事業所の職員との交流・ワークで、共通する悩みや課題がありつつも、様々な考え方や解決方法があることを楽しく学べたという声や、自分の考え方の傾向を振り返ることができた、交流・ワークの時間が足りなかったとの声があった。

○研修内容でよかったと感じた内容

回答（一部抜粋）

- ・ 同じ業界の仲間とのワークや、自己紹介シートの作成使用、先輩にどう対応してほしかったかなど、事業所に持ち帰って役立つものばかりでした。
- ・ 「自分と相手のコアビリーフ」の課題が印象深く残っており、すごく腹落ちした。対人関係で起こる「違い・ズレ」、表面に現れる感情・言動などのみを認知し、放置していた事が多いが、お互いの「こだわり」を尊重し、納得解に導いていく視点を、改めて理解できた満足感いく内容だった。
- ・ グループワークが多く、関わりを持てる時間が多かった点。
- ・ 普段とは異なる立場、経験の人とコミュニケーションを取る事で新しい発見があった。

「コアビリーフを意識する」等新たな知見を得られるワークがあったことや、自身の経験の振り返りがの成長につながる重要なアクションであること、他職員との交流により異なる意見や考え方をグループワークを通して知れたことがよかったとの意見が多くみられた。

○研修内容で足りないと感じた内容

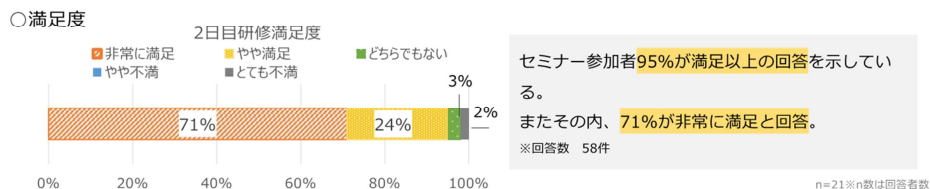
回答（一部抜粋）

- ・ 内容の足りなさは感じないが、時間が限られている為、自分自身を深く掘り下げきれず、物足りなさを感じる。きっかけをもらえること自体は良かったため、引き続き、日常生活の中で、内省を習慣化していきたい。
- ・ 時間が足りない、他のグループの意見も聞けると良かった
- ・ 介護に特化した内容がもう少し欲しかった。

全員で交流できる時間や、更に対話の時間あると良いとの意見が見られた。また内容については介護に特化した内容も欲しいとの意見が見られた。

2. 新人介護職員向け交流研修 研修2日目

アンケート調査



満足度	回答理由（一部抜粋）
非常に満足	これから先の働き方がとてもわかりやすかった。自分がどうしてこの業界を選んだか改めて考えることができとても良い時間でした
非常に満足	キャリアデザインの方法がこの研修内で明確になり、これからの仕事への意欲が湧いたため。
非常に満足	次第に仕事に対する確信が持てた
やや満足	チェックシート等あり自分が仕事や人生において何を重視しているのか改めて知ることが出来ました。重視していることを元に今後も悩んだ時は振り返りをしていきたいと思いました。
やや満足	実践で活かせるか不安
どちらでもない	改めて自分自身のことを考えるきっかけにはなりましたがキャリアが上手く描けなかったです。
とても不満	キャリアとは何か改めて考えるきっかけになりました。

キャリア形成という重要なながら施設では中々行われない学習はキャリア設計について具体的に考える良い機会になった、また他職員と意見交換しながら具体化していくことで、自身の意見や仕事への自信につながりモチベーションが上がった、刺激になったとの意見が多く見られた一方、学んだことを実践で活かせるか、具体的なキャリアが上手く描けなかったとの意見もあった。

○研修内容でよかったと感じた内容

回答（一部抜粋）

- ・ 中浜さんによる体験談からの話や基本的欲求、キャリアアンカー
- ・ マクドナルドの話(ゲスト講師講演)等、あまり高齢者とは結びつかないお話から「介護」を見つめることができたこと。
- ・ キャリア理論を用いたワークと意見交換。深い自己理解に繋がった。
- ・ 研修を通してキャリアについて、自分の仕事のやりがい、価値観を学ぶ事ができた。
- ・ 前回同様、グループでの意見交換、みんなの生の言葉を聞けて良かった
- ・ グループワークの質、量がちょうど良い。

ゲスト講師の、一見介護とは結び付かない視点から介護について考える経験談・内容が良かったとの感想や、キャリアの考え方を学べるプログラムであったこと、交流できるグループワークであったことやワークの内容も自己を見つめなおすきっかけになったりと、量・質ともに良かったとの意見が見られた。

○研修内容で足りないと感じた内容

回答（一部抜粋）

- ・ もっと密な内容でも良かった。
- ・ もう少し皆で話を深められると良い
- ・ 何が足りないかがまだわからない。
- ・ 介護にあたってのノウハウが知りたかった

皆で話を深められる時間があると良かったとの意見や、プログラムの内容については、まだ何が足りないかわからない、もっと密な内容でも良かった、介護のノウハウも学べると良かったとの意見があった。